

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察			
			取組指標	結果	成果指標	結果				
★保育・教育活動の充実	自分で遊びを見つけ選び自分で行動できる子どもの育成	環境の構成 子どもの好奇心を引き出すための環境構成を行う	4	子どもの実態を把握し、活動の状況に応じて環境の再構成を行っている	2.3	4	やりたいことに夢中になって遊ぶ中で新しいことを試したり工夫したりして遊ぶようになった	2.6	子どもの興味や関心がどこにあるのかを観察し、子どもが願いを実現するためには、保育者はどうあればよいかを模索する様子が見えてくる。子どもたちの変化から環境構成の工夫の重要性に気づいている職員も多い。	
			3	子どもの興味関心や季節に応じた自然物などを取り入れながら保育者が自分なりに工夫し、環境構成を行っている		3	自分たちで遊びに必要なものを要求したり、友達の姿に刺激を受けながら新たなことにも興味を持つようになった			
			2	子どもの発想や願いを受け止め、子どもと共に環境を作っている		2	身近なものを使ったり自分のやりたいことを見つけて自ら遊び始めるようになった			
			1	登園時に子どもの興味・関心に合わせた遊びが始まる保育の環境を準備している		1	自分の好きな遊びや場所を見つけて過ごしたり遊べるようになった			
		援助 一人一人の子どもの特性や発達、ねらい等に適した関わり、援助を行う	4	保育者の判断基準にとらわれず、子ども一人一人のありのままを受け止め、見守っている	2.9	4	自ら積極的に活動し自己発揮するようになった	2.8		個々の子どもと丁寧にかかわり、1対1の対話を大切にしようとしている職員が多い。また子どものありのままを受け止める姿勢が子どもの自己発揮につながったと考える職員も多い。
			3	子どもの行動とその原因について理解し、その援助を工夫している		3	自分のしたいことや思いを言葉にして相手に伝えるようになった			
			2	一人ひとりの個性を受け止めている		2	好きな遊びを見つけて遊べるようになった			
			1	明るく元気に子どもに接し、一緒に遊んでいる		1	友達や保育者と安心して遊べるようになった			
◆職員の育成・資質向上や運営	共通課題に向かう教職員の協力体制づくり	組織運営 園児の様子や分掌事務について教職員の話合い	4	行事等での役割を自覚し、組織の一員として行動できている	2.6	4	自分の役割を理解し、積極的に行動にうつすようになった。	2.9	職員間でのコミュニケーションが以前に比べて増えている。小さなことでも共有し、話し合いやすい同僚性が生まれ始めているようである。今後、役割分端を明確にする必要がある。	
			3	必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談をしている		3	報告、連絡、相談を意識的に行うようになった			
			2	困ったときや悩んでいるときに同僚や上司に相談できている		2	保育や園務分掌の中で、他の職員と協力しようとするようになった			
			1	経験年数や年齢を気にせず職員同士が話せるようになっている		1	互いに、明るく気持ちよく挨拶し、思っていることを言い合えるようになった			
	職員一人一人が研修を通じて自己研鑽し、喜びや意欲をもって保育にあたる	研修 自ら園外研修に意欲的に参加する	4	学びを生かした実践から、自分なりの創意工夫ができている	2.6	4	学んできたことを自分のクラスの実態に合わせて工夫できるようになった	2.3		研修会に参加した職員は、学んだことをすぐに実践に活かし、よりよい保育につなげようとする前向きな姿勢がうかがえる。その一方で非正規職員に研修会への参加の機会を作ることが今後の課題と言える。
			3	学んだことを自分の保育に取り入れている		3	保育者がもっと面白い教材を見つけようとするようになった			
			2	学びをまとめ他クラスの職員に話したり、職員会で伝えている		2	研修で学んだことを試すようになった			
			1	様々な研修に積極的に参加している		1	向上心を持って研修に参加し自分の保育を振るようになった			
◎地域に関わった園づくり	保護者との連携を深める	保護者への支援 在園児の保護者に対して子育てを支援する	4	保護者からの質問や相談を傾聴し、上司や同僚に相談しながら誠実な対応ができている	2.6	4	保護者が子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれるようになった	4.5	積極的に保護者に声を掛け、子どもの様子などの情報共有を行い、関係性を築こうとする努力がうかがえる。園だより、クラスだよりで園の保育方針や日々の子どもたちの姿などを細かく伝えていくことで、保護者の理解につなげていきたい。	
			3	日ごろから積極的に保護者とコミュニケーションをとりながら、子どもの行動の意味や心の発達等についてわかりやすく伝えている		3	家庭での子どもの様子を気軽に話してくれるようになった			
			2	一人一人の子どもやクラスの遊び、友達との関わり、生活の様子を送迎時や連絡帳、クラスだより等を通して保護者に知らせている		2	保護者から話しかけられるようになった			
			1	保護者に進んで挨拶したり話しかけたりして、話しやすい雰囲気づくりに努めている		1	送迎時に保護者から挨拶してくれるようになった			